

2016年8月11日

<ジンザイ について私が思うこと>

今日は「人材 (JINZAI) 」について、経営者として思っていることを書きたいと思います。

私が人間に対して考える時、基本は「人は・・・変わらない・・・」ということです。これを聞いたあなたは思うでしょうか？

例えば、どこかの会社に入社すると研修があったり、セミナーに行かされたりしますね。

相手がどんなにあなたのためにいろいろやっても、あなたは変わらないと思っています。

厳密に言うと、変わろうとしている人、成長しようとしている人“しか” 変わらないのです。

世の中には、「遅刻をするな」と何度言っても遅刻をする人もいます。相手がわからなければ何をやっても OK だ...という言う人もいます。

残念なことですが、「ダメな人」は、「ダメ」だと思のです。

そういう人に時間を使うこと、お金を使うことは、一番のムダだと思っています。

ここからは少し日本語の話しになりますが、日本語では「ジンザイ (タイ語で) 」を、「ジンザイ」と言います。

私は、この「ジンザイ」という言葉は、4つの書き方があると思っています。

以下の4つは、読み方は「ジンザイ」なのですが、意味は大きく異なります。

人罪、人在、人材、人財 というように...

「人罪」とは、「人（ひと）」+「罪（つみ）」と表記します。

このジンザイの意味は、常に人や仲間の悪口を言い、妬み嫉みの塊で、人が見ている時は働き、人が見ていない時にはサボるような人 です。

「人在」とは、「人（ひと）」+「在（ある）」と表記します。

ただ、いるだけの人...です。出勤時間と同時に退社時間のことを考え、仕事より趣味や遊びが大切で、当然、仕事中にも、そのような事を考えているような人です。

「人材」は、「人（ひと）」+「材（材料：ざいりょう）」と表記します。日本語で「ジンザイ」と言ったら、この表記になります。

つき合う人がよければ良くなり、悪ければ悪くなる人です。ようは、材料です。

最後に「人財」とは、「人（ひと）」+「財産」と表記します。

どんな劣悪な環境でも明るく働き、自分の自己成長の為、会社の成長の為、懸命に働ける人です。

企業は、人財（人+財産）と人材（人+材料）を採用し、
絶対に、人罪（人+罪）と人在（人+あるだけ）を採用しないことです。

この事は、決して会社経営にだけ言えることではありません。

当然「わたしたちの人生」にも、あてはまるのです。

あなたの人生に採用をしてはいけない人を採用しまえば・・・。

あなたの人生は、辛く苦しくなると想像できます。

人生に採用すべき人材と人財を採用をすれば・・・

あなたの人生は、おのずと楽しくて、必ず好転して行きます。

もう1度いいます。

人は・・・変わりません・・・。

変えるべきは・・・

あなた自身の「考え方」なのです。

何かの参考になれば幸いです。